学校案内

School Guide

地方独立行政法人

徳島県鳴門病院附属看護専門学校

保健・医療・福祉の向上と地域医療に貢献できる有能な人材を育てます

ごあいさつ

本校を目指すあなたたちに。私たちは、あなたたちを医療の世界に貢献する看護師に育てあげます。プロフェッショナル看護師には深い医学知識と確かな看護技術に加え、疾病に苦しむ患者様の心に寄り添う優しい気持ちが必要です。この高みを目指す志高い若者を待っています。

徳島県鳴門病院附属看護専門学校
学校長　邉 見 達 彦

教育理念

本校は地域住民の健康の担い手として、人々が身体的、精神的、社会的に能力を最大限に発揮し、その人らしく社会生活が営めるよう支援できる看護の実践者を育成する。

教育目的

看護師として必要な基礎的知識、技術、態度を習得し、保健・医療・福祉の向上と地域社会に貢献できる有能な人材を育成する。

アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れ方針）

(1)看護師になりたいという意志がある人
(2)学習習慣が身に付いていて、主体的に学び続けられる人
(3)看護を学ぶ基礎学力とこれまでの経験を基に、広い視野と向上心を持てる人
(4)人に関心をもち、他者と協調して人間関係を構築できる人
(5)マナーやルールを守り、挨拶ができ、責任ある行動がとれる人

ディプロマ・ポリシー（卒業認定、専門士授与の方針）

(1)豊かな感性を養い、創造性を高めることができる。
(2)対象を身体的、精神的、社会的側面から統一体として捉え、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。
(3)対象の健康上の問題について看護チーム間での調整の役割がとれる。
(4)自己の看護観を明確にし、専門職業人として倫理に基づいた行動がとれる。
(5)環境の変化や社会の動向に関心をもち、国際的視野に立って活躍できる基盤をもつ。
(6)保健・医療・福祉チームにおける看護の機能、役割を認識し地域住民の福祉の向上と生活の安定にむけて活躍できる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成、実施の方針）

(1)看護の対象である人間を総合的に理解でき、尊重する態度を身につける。
(2)あらゆる健康レベルの対象や発達段階にある対象が快適な生活ができるよう、科学的思考を用いて看護が実践できる。
(3)保健・医療・福祉におけるチームの一員として、看護の役割を果たすことができる。
(4)専門職業人としての自覚を持ち、常に自己研鑽する態度を身につける。
(5)人間愛を基盤にした調和のとれた幅広い人間性を身につける。
(6)教育理念に基づき、地域住民の福祉の向上に寄与できる。

沿　革

昭和29年10月	健康保険鳴門病院付属准看護学院を設置
昭和48年３月	健康保険鳴門病院付属准看護学院として18年間、380余名の卒業者を送り出し廃校とする
昭和48年９月	健康保険鳴門病院付属高等看護学院（全日制・2年課程）開校
昭和52年２月	健康保険鳴門病院付属高等看護学院（全日制・3年課程）第一部併設の許可となる
昭和52年４月	健康保険鳴門病院付属高等看護学院第一部新設にともない2年課程は第二部として改称され、健康保険鳴門病院付属高等看護学院第一部、第二部として発足する 同学院新校舎竣工
昭和52年９月	専修学校として発足し健康保険鳴門看護専門学校と改称
昭和54年３月	健康保険鳴門看護専門学校第二部（全日制・2年課程）閉校
昭和54年４月	健康保険鳴門看護専門学校3年課程のみとなる
平成２年４月	改正カリキュラムによる教育を開始する
平成５年４月	推薦入学制度を導入する
平成７年２月	文部省告示により専門士の称号を付与される。
平成７年４月	新校舎及び体育館並びに学生寮竣工を機に学生一学年定員45名に増員 総定員135名とする
平成９年４月	カリキュラム変更により学則を変更する
平成13年４月	学生一学年定員40名に変更し、総定員120名とする
平成14年４月	法改正により、性別によって異なっていた看護婦（看護士）から看護師に名称変更される
平成21年４月	カリキュラム変更による学則を変更する
平成25年４月	学校名を「地方独立行政法人徳島県鳴門病院附属看護専門学校」と改称し学則を変更する
令和４年４月	改正カリキュラムによる教育を開始する

入学から卒業まで３年間の学校生活と主な行事予定

	1　年	2　年	3　年
4月	●入学式 ●健康診断 ●鳴門探検	●健康診断	●上級救命講習 ●健康診断 ●就職活動対策講座
5月	●ナイチンゲール祭	●基礎看護学実習Ⅱ ●ナイチンゲール祭	●精神看護学実習 ●ナイチンゲール祭
6月			
7月	●事例研究発表会	●事例研究発表会 ●ホームカミングデイ	●事例研究発表会 ●ホームカミングデイ
8月	●夏季休暇	●夏季休暇 ●オープンキャンパス	●夏季休暇
9月	●災害訓練		●医療安全研修 ●県民のつどい
10月	●学生祭 （鳴門病院まつり） ●戴帽・点火式	●学生祭 （鳴門病院まつり） ●領域別実習開始	●統合実習 ●学生祭 （鳴門病院まつり）
11月	●実習前コミュニケーション・マナー講座		
12月	●徳島県 看護学生研究発表会 ●基礎看護学実習Ⅰ ●人権研修	●徳島県 看護学生研究発表会	●徳島県 看護学生研究発表会
1月	●冬季休暇	●冬季休暇	●冬季休暇
2月	●国際セミナー	●スタートアップ講座	●看護師国家試験 ●看護協会卒業研修
3月	●地域・在宅看護論実習Ⅰ ●春季休暇	●春季休暇	●卒業式

◎年間通じてボランティア活動をしています

●カリキュラム
Curriculum

教育内容　3年間で「看護師」になるために多くのことを学びます。

基礎分野

「科学的思考の基盤」と「人間と生活・社会の理解」とし、専門基礎分野および専門分野の基礎として位置付け、看護職に必要な科学的根拠を用いた看護を実践するための基礎的知識を身に付け、人間を多角的に理解する能力を養う内容としています。また、感性豊かな人間性を育み、幅広いものの見方、考え方を身に付け、想像力を養うと共にコミュニケーション能力を高め、国際化へ対応しうる能力や情報を活用するための基礎的能力を養う内容としています。

科学的思考の基盤●心理学／教育学／物理学／統計学／看護情報学(情報科学・通信技術)／生物学／化学／論理学／哲学
人間と生活・社会の理解●人間関係論Ⅰ／人間関係論Ⅱ／国文学／社会学／外国語（英語)／保健体育／ストレスマネジメント

専門基礎分野

「人体の構造と機能」「疾病の成り立ちと回復の促進」「健康支援と社会保障制度」を学ぶ分野とし、専門分野の基盤として位置付けています。
「人体の構造と機能」では基礎分野で培った知識をもとに、健康･疾病･障害に関する観察力、判断力を養い、臨床判断能力の基盤を強化できる内容とし、「疾病の成り立ちと回復の促進」では、看護が人間の生命の営みを助ける重要な意味を持つことを理解し、看護援助の根拠を学ぶ内容としています。また、「健康支援と社会保障制度」では、保健・医療・福祉に関する基本概念、関係制度、関連する職種の役割を理解し、人々が生涯を通じて健康や障害の状態に応じて社会資源を活用できるように必要な知識と基礎的な能力を養う内容としています。

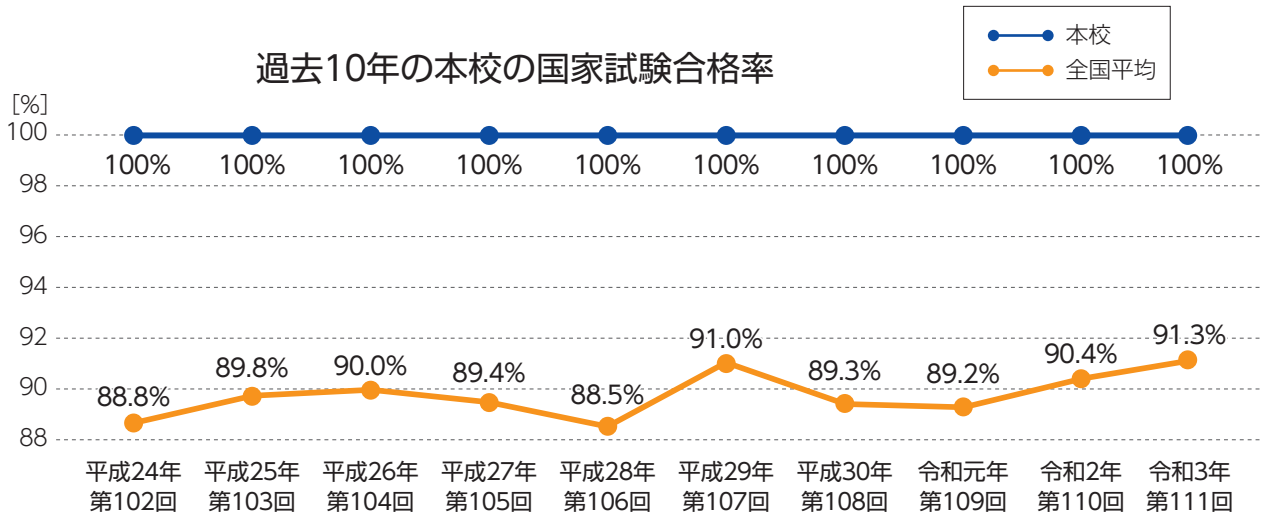
人体の構造と機能●解剖生理学Ⅰ･Ⅱ／病態生理学／病理学／生化学／栄養学／臨床薬理学／微生物学／臨床検査
疾病の成り立ちと回復の促進●疾病論Ⅰ／疾病論Ⅱ／疾病論Ⅲ／疾病論Ⅳ／疾病論Ⅴ／疾病論Ⅵ
健康支援と社会保障制度●保健医療論／公衆衛生学／社会福祉学／医療と経営／関係法規Ⅰ／関係法規Ⅱ

専門分野

「基礎看護学」「地域･在宅看護論」「成人看護学」「老年看護学」「小児看護学」「母性看護学」「精神看護学」「看護の統合と実践」で構成されています。
「基礎看護学」「地域・在宅看護論」「精神看護学」では、基礎分野の科目を土台とし、専門基礎分野の学習をふまえ、看護の対象の理解、人間の健康の意義、保健医療福祉における看護の機能と役割について理解し、看護実践の基礎となる知識、技術、態度を習得します。
「成人看護学」「老年看護学」「小児看護学」「母性看護学」は、成長発達に応じた各期の特徴とその健康上の問題を明らかにし、その多様なニーズや特徴をふまえながら、対象や家族に応じた看護ができる基礎的能力を育成します。特に、看護実践能力の向上を図るために学内での演習を強化し臨地実習では看護上の課題を抱えた人の看護を、主に併設の医療施設で行い、他職種との連携・協働を図りながら実践できるようにします。
「統合と実践」では、組織における看護師の役割の理解、あらゆる対象の健康状態に応じて回復を支援できる能力や、看護研究の基本的知識･態度を習得し、看護を多角的視点から考察し、質の高い看護を追求する能力、救急時・災害時に適切な判断・対応ができる能力を養う内容としています。

基礎看護学●基礎看護学Ⅰ／基礎看護学Ⅱ／基礎看護学Ⅲ／基礎看護学Ⅳ／基礎看護学Ⅴ
地域・在宅看護論●地域／在宅看護論Ⅰ／地域・在宅看護論Ⅱ／地域・在宅看護論Ⅲ
成人看護学●成人看護学Ⅰ／成人看護学Ⅱ／成人看護学Ⅲ／成人看護学Ⅳ／成人看護学Ⅴ
老年看護学●老年看護学Ⅰ／老年看護学Ⅱ／老年看護学Ⅲ
小児看護学●小児看護学Ⅰ／小児看護学Ⅱ／小児看護学Ⅲ
母性看護学●母性看護学Ⅰ／母性看護学Ⅱ／母性看護学Ⅲ
精神看護学●精神看護学Ⅰ／精神看護学Ⅱ／精神看護学Ⅲ
看護の統合と実践●看護の統合と実践Ⅰ／看護の統合と実践Ⅱ／看護の統合と実践Ⅲ／看護の統合と実践Ⅳ／看護の統合と実践Ⅴ
臨地実習●基礎看護学実習Ⅰ･Ⅱ／地域・在宅看護論実習Ⅰ／地域・在宅看護論実習Ⅱ／成人・老年看護学実習／小児看護学実習／母性看護学実習／精神看護学実習／統合実習

看護師国家試験合格率　過去 10 年では 100% の実績です。



卒業後の進路

就職では徳島県内が 90% を占めています。
進学では保健師・助産師をめざします。

就職

徳島県鳴門病院／徳島県立病院／徳島大学病院／徳島赤十字病院／国立病院機構東徳島医療センター
つるぎ町立半田病院／阿南医療センター／吉野川医療センター／阿波病院／田岡病院／きたじま田岡病院
手束病院／近藤内科病院／川島病院　等

進学

徳島大学医学部 保健学科 ３年次編入／愛媛大学医学部 看護学科 ３年次編入
徳島文理大学 助産学専攻科（4年制大卒の者）／高知大学医学部 看護学科 ３年次編入
神戸市立大学看護学部 ３年次編入

●統合実習前演習

高度化･多様化する臨床現場に対応できる「実践力」を備えた看護師の育成を目指して、平成23年より、3年次後期の統合実習前にOSCE（Objective Structured Clinical Examination：客観的臨床能力試験）を行っています。学生は看護技術の練習とシミュレーションをグループ単位で積み重ね、多重課題･時間切迫･業務割り込みといった状況下で、自己の力量の判断ならびに優先順位の決定、他者への協力依頼が適切に行えるよう学習しています。教員が患者や看護師に扮し臨床現場により近い状況を作り取り組んでいます。

Message
卒業生からのメッセージ

がん化学療法認定看護師
林　江里佳 さん
(2002 年度卒業生)
徳島県鳴門病院
看護師長
外来化学療法室・患者サポートセンター勤務

がん化学療法に関する最新の知識と技術を用いて、多様な患者さんや家族のニーズに対応し、患者さんの QOL の維持・向上を図ると共に、がん化学療法に対する看護の質向上に貢献しています。抗がん剤の管理、投与中のモニタリングと対応、抗がん剤による副作用の症状マネジメント、治療中の生活相談など、がん化学療法を受ける患者さんや家族の方が安全に安心して治療を受けていただけるような看護を行っています。

集中ケア認定看護師
石川　龍一 さん
(2005 年度卒業生)
徳島県鳴門病院
ICU 勤務

ICU に入室した方は、意識がある方もない方もつらい病状に置かれています。
ICU という環境は、容態が変わっても対応できるように壁の少ない開放的なつくりであるため、常に音や光に溢れています。私は、つらい病状や特殊な環境に配慮し、一人ひとりの患者さんに応じた看護を行っています。入室した時から退院を見据えて療養上の世話をさせていただくことで、患者さんの痛みをできるだけ減らし、ICU に入室することによる副作用の予防に努め、病状の変化にいち早く気付けるよう専門的な知識を用いて継続的な看護を行います。

糖尿病看護認定看護師
中野　真希 さん
(2011 年度卒業生)
徳島県鳴門病院
４階西病棟勤務

糖尿病患者さんへの医学的治療の介助、患者さんとその家族への QOL 向上のためのケア治療法選択のための情報提供や相談などを行います。患者さんの生活を薬物だけでなく、食事、活動、生活の変化を踏まえ、心理状態などを考慮しながら、血糖値の管理を患者さんと共に考え、患者さんが行えるように支援します。合併症の一つである足病変を予防できるようフットケア外来も行っています。

酒井　彩花 さん
(2020 年度卒業生)
徳島県鳴門病院
４階西病棟勤務
看護師２年目

看護師として働き始めて１年が過ぎ、１人で看護業務を行うことが増えてきました。就職した頃は、正直日々の業務をこなすことに精一杯でした。看護師２年目を迎え、自分が成長できているのか不安に思う時もあります。看護を実践することにおいては、患者さんの命を預かる、護るという自分の看護行為が命に直結しており、とても責任が重く想像していたよりも辛く大変です。しかし、そのような日々の中で看護師として患者さんに接し、やりがいを感じることも多くとても充実した毎日を送っています。
現在、疾病は複雑化し治療は多様化しています。日進月歩で進む医療に追いつくため看護師になった今も勉強の毎日で頑張っています。

清岡　直通 さん

(2020 年度卒業生)
徳島赤十字病院
ICU 勤務
看護師２年目

徳島赤十字病院では、１年間臨床研修看護師として、一般病棟をはじめ、救命救急センター、手術室などで研修する制度があります。現在、私は１年間の研修を終え、ICU で働いています。ICU では一般病棟と比べ病床数は少ないですが重症度が高く、患者さんは体位変換や口腔ケアなどのケアを行うだけで容易にバイタルサインや状態が変動することがあります。そのため、細心の注意を払って患者さんに関わり毎日仕事が丁寧にできるように先輩看護師に教わりながら日々を送っています。実際臨床現場で働くと、知識に加えて、患者さんの状態をよく観察することが非常に重要であることを痛感しました。患者さんの呼吸状態や、意識レベルなどを、目で見たり耳で確認したりし、今どういう状況にあるのかを考える必要があります。患者さんのちょっとした変化に気づけるように日々勉強しています。

松浦　優佳 さん

(2020 年度卒業生)
徳島大学病院
NICU 勤務
看護師２年目

私は、看護学生時代に新しい生命の誕生という場面に関わらせていただいたことにとても感謝し、感動したと同時に看護師として新生児に関わっていきたいという目標ができました。そのため、看護学校卒業後、NICU 病棟のある徳島大学病院へ就職し、現在、周産期母子センターで働いています。

就職後は、新生児について自身で知識を身に付ける必要があり日々勉強していかなければなりません。また、社会人としても初めての経験ばかりで戸惑うことも多くとても大変です。しかし、毎日先輩から学び、助けていただきながら新生児や家族への看護を実践しています。毎日たくさんの学びがあり充実した日々を過ごすことができています。

三寶　彩佳 さん

(2021 年度卒業)
徳島県鳴門病院
５階西病棟勤務
看護師１年目

看護学校を卒業後、現在は徳島県鳴門病院で働いています。就職後、１ヶ月以上が経ちますが、まだまだ分からないことが多かったり、1つ1つのことに時間がかかってしまったり、知識や技術の不足を痛感する毎日です。

病棟では、先輩看護師に分からないことや困っていることはないか声をかけてもらうなど、たくさんの方に支えていただきながら業務に取り組んでいます。まだ１人でできないことも多くありますが、研修で身につけた看護技術は病棟で実践し経験を積んだり、先輩看護師に１つ１つ丁寧に指導していただいたりして、少しずつですが自分でできることも増えてきています。

佐賀　美月 さん

(2021 年度卒業)
徳島県立中央病院
９階南病棟勤務
看護師１年目

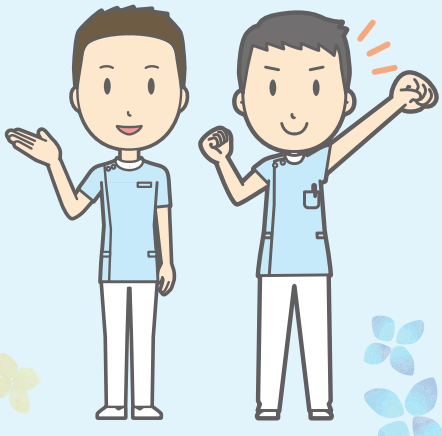
私は、看護専門学校を卒業後、徳島県立中央病院で働いています。学生時代から興味があった整形外科・泌尿器科に配属され、先輩ナースに教えていただきながら日々看護業務に励んでいます。今は、病棟の１日の流れや看護技術を習得するのでいっぱいいっぱいです。国家試験受験のときにあれだけ勉強したのに足りない知識が山積みで苦しいこともたくさんあります。そして、いろいろな症状を持った患者さんの看護を実践していくことは大変です。働いていく中でしみじみと思うのは、「学生時代の実習が糧になっているな」ということです。とてもやりがいを感じています。

新人看護師として、わからないことはそのままにしないこと、報告・連絡・相談を忘れないこと、１人で抱え込まないことを徹底し、成長していけたらと思っています。誰だって初めは新人です。ガッツを持って頑張っていきます。

撮影 ： 大杉隼平

プロフィール 1982年東京生まれ。ロンドンで写真とアートを学ぶ。
現在、雑誌やTV、広告、カタログなどで活動する傍ら、約200人の国内外の役者の宣材写真やアーティスト写真を手掛け、様々なブランドとのコラボレーション、国内外の企業の撮影と活動は多岐に渡る。また、CP+主催の「THE EDITORS PHOTO AWARD ZOOMS JAPAN 2020」では一般投票で最多票を獲得しパブリック賞を受賞。

鳴看男子より看護師を目ざす皆さんに



鳴看は、県内の看護学校で唯一、男子寮が備わり、遠方にお住まいの方も安心して学校生活を送ることができます。

また、互いに切磋琢磨し、支えあう大切な仲間に出会うことができます。僕たちと一緒に看護師を目指し頑張りましょう。同じ志をもつ、仲間に出会うことを楽しみしています。

来たれ、男子看護学生！！

鳴看で一緒に学びましょう

徳島県鳴門病院附属看護専門学校では、隣接する徳島県鳴門病院で実習を行うことができるので実践的な知識や技術を身につけるには最高の環境です。目標である看護師を目指す中で熱意を持った先生方や共に学ぶ仲間との学校生活では自分自身の人間性を高め、看護師としてのイメージを明確に持つことができます。また、就職や進学についても先生方が真摯に相談に乗って下さり、私たちの希望が尊重されます。助産師や保健師、養護教諭などの看護師以外の道も開かれており、学校で学ぶことが基礎となり進学しやすい環境が整っています。学生祭では、学生が主体となって模擬店を出店し企画しています。その他にも学校行事が豊富で充実した学校生活を送ることができます。看護師は患者に最も近い医療従事者であるため、看護師に求められる知識や技術、人間性は重要ですが、徳島県鳴門病院附属看護専門学校での生活を通して、たくさんの知識や技術、より良い人間性を育むのに自信を持ってすすめることができます。ぜひ、私たちと一緒に看護の道を目指しましょう。

鳴看女子「鳴美ちゃん寮生」の学内日のある日

8：00 起床

学校と寮が近いため「もうちょっと寝ても大丈夫！」と思ってしまいます。なかなかベッドから出られません。

8：40 登校

同じ階の友達と一緒に登校。
寝坊対策として部屋から出ていない友達にはドアをコンコン。
寮は学校と隣接しているため徒歩 2 分で教室に到着。
渡り廊下があるため雨の日は濡れずに登校できます。
教室で課題や記録物などを提出します。

9：00 ～ 12：10 午前の講義

昼休み

寮生は自室に戻って食事をとる人が多いです。
午後の授業に必要な教材もこの時に準備しています。

13：00 ～ 16：10 午後の講義

帰宅後

寮には各部屋にキッチンがあり、それぞれが自炊しながら生活しています。
みんなで“たこパ”や“鍋パ”をすることも。
わいわいご飯を食べることも日々の息抜きに繋がっています。

22：00 門限／22：10 点呼

門限など寮のルールをみんなで守りながら協力して生活しています。
点呼の後に友達と課題や提出物の確認をしたり、集まって勉強をすることもあります。

鳴看女子「鳴子ちゃん寮生」の実習日のある日

7：00 起床

実習日は朝が早いのでスマホのアラームは
15 分ごとに 3 回かけて寝坊を予防しています。

7：40 登校

記録の提出や今日の実習目標の確認をします。

8：15 学校出発／8：30 ～ 15：30 実習

昼休み

お昼には寮に戻って昼食をとります。
時間がないときには即席のものに頼りがち。

15：40 帰校

1 日の実習内容の報告や
実習記録の指導を受けます。

帰宅後

ほっと一息ついてから実習の記録物を書いていきます。
行き詰まった時には友達に相談をしたりアドバイスをもらいます。
同じ実習グループの友達が住んでいるため夜中に部屋まで行くことも。点呼まで仮眠をとる日もあります。

22：00 門限／22：10 点呼

就寝

実習日は就寝時間も遅くなります。
次の実習に備えて患者様に渡すパンフレットなどの製作をすることもあります。
いつの間にかこたつで寝てた！なんてこともしばしば発生。
翌朝必死に追い込むことも。

鳴看男子「鳴太くん寮生」の学内日のある日

6：30 起床

テレビを見ながらご飯を食べたり髪を整える。
テストのある日は登校時間ぎりぎりまでテスト勉強をする。

8：20 登校

課題があるため、8 時 30 分には提出できるようにしている。

9：00 ～ 12：10 午前の講義

講義の内容は難しいことが多いけど、講義で習うことは大切なことばかり。集中！集中！

昼休み

寮に帰って食事をとることが多いです。
冷凍食品や即席の物がほとんどです。

13：00 ～ 16：10 午後の講義

お腹いっぱいで眠気が…。
気合いを入れて頑張る！

帰宅後

スマホをいじったり、ゴロゴロした後、課題をする。
残った時間で部屋の掃除・洗濯や食器洗いをする。
テストや実習もなく、時間に余裕のある時期は、寮の友達と運動をする。
勉強も大切だけど、体力も必要！

就寝

規則正しい生活を送るためにも睡眠時間は十分にとっています。

鳴看男子「看太くん通学生」の実習日のある日

6：15 起床

目覚まし時計とオカンの怒鳴り声で起床…。
実習日は朝が早い…。

7：30 登校

実習記録、課題の提出をします。

8：15 学校出発／8：30 ～ 15：30 実習

実習中には学ぶべきことがたくさん！！

昼休み

学校に帰ってきて昼食をとります。

15：40 帰校

明日の実習目標を考えます。
担当教員に 1 日の実習内容の報告、実習記録の指導を受けます。

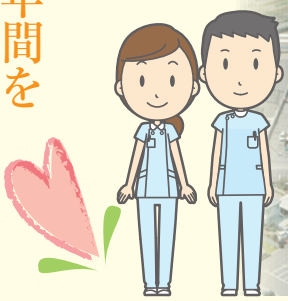
帰宅後

実習で学んだことの復習、明日の実習の事前学習、実習記録をします。
その他の課題やテスト勉強もしなければいけません。
実習中はすることがいっぱいです。

就寝

実習中は少し寝不足気味…。
課題をためすぎて「今日、寝る時間がない～」なんてことも…。
課題は計画的に終わらせよう！！

熱く輝く3年間を
『鳴看』でみつけよう



教育熱心な教員が情熱を注ぎ、学生の学習意欲向上に努めます

看護教育

- 当校は、充実した設備を有し、最新のカリキュラムで、質の高い優れた看護教育に尽力しています
- 看護師国家試験合格へのサポートに努めるとともに、卒業後もバックアップします
- 公的機関及びその他民間機関の奨学金制度があります
- 卒業者の100%が希望施設に就職できています
- 既卒者の再就職の支援も行っています

看護実習

- 隣接の病院で行うので、時間と経費を節約でき勉学に熱中できます
- 最先端の医療機器・電子カルテなどの院内情報システムの完備した病院で、豊富な実習が実践でき、卒後臨床現場へスムーズに対応できるよう教育を行っています
- 実習指導においては、研修を受けた多くの看護師が教育にあたるので、ＥＢＮ(科学的根拠）に基づいた看護を実践できます
- 母体病院の協力により統合実習(夜間実習・複数患者の受持ち）も実践しています

学生寮

学校と
隣接していて
通学に便利

ワンルームマンション(個室)形式

- くつろぎ・憩い・語らう場とともに学習の場として清潔感あふれる快適なスペースです

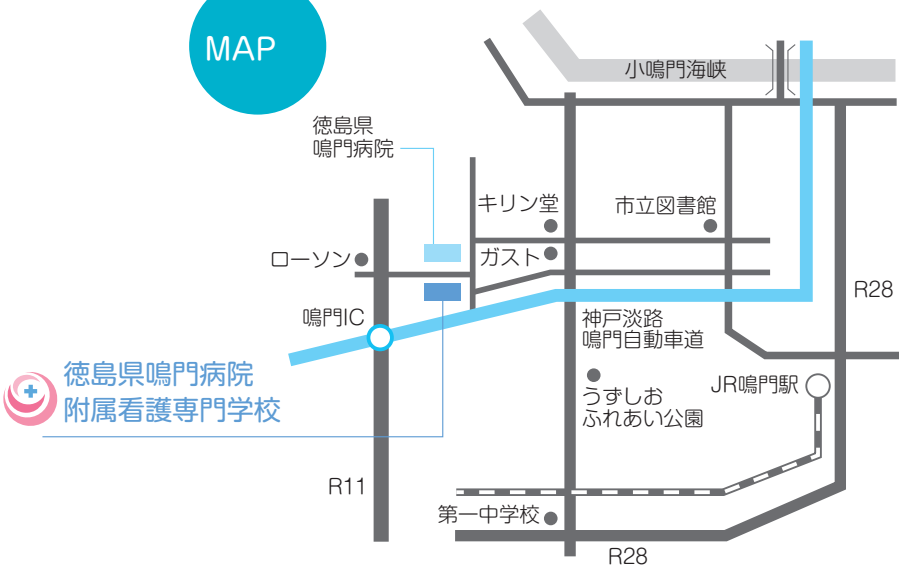
校舎外観

体育館外観

玄関ホール

体育館競技室

MAP



ACCESS

●鳴門ICより
車にて約4分

●徳島阿波おどり空港より
タクシーにて約15分

●高速鳴門バス停より
鳴門市営バスにて約10分(循環バス)
タクシーにて約5分

●JR鳴門駅より
鳴門市営バスにて約10分
(北泊線・里浦粟津線・引田線・循環バス)
タクシーにて約5分
徒歩にて約20分

地方独立行政法人 **徳島県鳴門病院附属看護専門学校**

TEL 088-686-4417　FAX 088-686-5447
〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町斎田字見白36-1
https://naruto-hsp.jp/hs/gakko/gakko.html